

証券市場新聞

1 第195号

日経平均株価

2万1199円57銭

▲113円63銭(前日比)

TOPIX

1537.10

▲2.64(前日比)

2019
9/9
月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社
〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



MNO各社は大きな戦略転換を迫られる？

万円の超える
ており、16
なる」とされ
万円が上限に
の割引は「2
同法では端末
されてはいる。
る影響が注目
信事業法によ
る改正電気通
月に施行され
は、10月
つても過言で
してきたと言
iPhoneが牽引
オンは国内シ
日本のスマート
日本は国内シ

る可能性もある。
カーにシェアを奪わ
端末を販売するメ
以下のミドルレンジ
を示してきた5万円
り、この数年存在感
及は厳しいものとな
なければ、新型の普
価格の機種を投入し
る。アップル社が低
る。アップル社が低
がそれにどう対応す
どのような価格設定
をして、MNO各社
たiPhoneが1
0日の新型発表会
の利を得る可
能性があ
る。一方、
注目の
れるの
が楽
のMN
O動
楽天は
月額の
通信料
金に對
して、
かなり
の低価
格を打
ち出す

MNO各社の販売戦略は

価格に
なつて
しまつ

携帯電話業界は様々な地殻変動が起ころうとしている。10月に改正電気通信事業法が施行されることに加えて、楽天(4755)がMVNO(仮想移動体通信事業者)からMNO(移動体通信事業者)へと移行し、現在のMNO3社体制から4社体制へと移行する。10日にはスマートフォンの普及に大きく貢献した米アップル社が新型iPhoneの発表会を予定しており、MNO各社の販売戦略を含めて、関連各社の今後の動向が注目されることになりそうだ。

携帯激震で狙える銘柄？

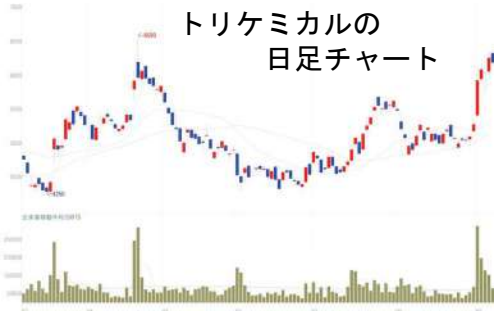
端末でシャープ、基地局関連も

そのミドルレンジ端末で存在感を示してきたハーウェイが米国の制裁で窮地に立たされており、この数年、積極的に新型端末を投入してきたシャープ(6753)が漁夫の利を得る可能性がある。

と言われており、NTドコモ(9437)やKDDI(9433)、ソフトバンク(9434)の価格戦略にも影響を与えそう。加えて、総務省は楽天の基地局開設に遅れが生じていることを指摘していることから、アンリツ(6754)や那須電機鉄工(5922)などの基地局関連も引き続き注目されそうだ。

日経平均日足チャート





トリケミカル3連騰

2Q11%営業増益を好感

週明け2日、トリケミカル研究所(4369)が3連騰。20年1月期の第2四半期累計決算を発表。連結売上高で41億5200万円(前年同期比9.3%増)、営業利益で11億5300万円(同10.7%増)となった。東アジア地域へ先端

半導体向け新規材料販売や市場投入に注力、それに対応した製造・開発・品質管理体制の強化と効率化に取り組んでいる。

サンバイオ試験結果好感

2日、サンバイオ(4592)が大幅続伸。米フロリダ州で行われたシンポジウムでSB623外傷性脳損傷を対象にした第2相試験結果を発

3日、アトラ(6029)が続騰、一時ストップ高まで買われた。8月末時点の月末時価総額が20億円未満になり、1部上場基準に抵触していることを発表。同社では1部上場を維持したい考えで、営業拠点の増設や会員の取り込み、新商品の投入などに取り組む方針で、今後の業績改善と株価

今週の動意銘柄

表した。18年11月に「SB623の投与群はコントロール群と比較して、統計学的に有意な運動機能の改善を認め主要評価項目を達成」しており、国内の慢性期外傷性脳損傷プログラムでは再生医療等製品に対する条件と期限付承認制度を活用、20年1月期中に製造販売の承認申請を目指す。

アトラは一時ストップ高

上昇を期待した買いを集めた。

3日、ホットランド(3196)が急反落、年初来安値を更新した。261万株の公募増資と上限を39万株とするオーバーアロットメントによる売り出しを行うと発表したことで、希薄化と需給圧

ホットランド稀薄化

2日、トーホー(8142)が急落、年初来安値を更新した。20年1月期の連結業績を下方修正した。通期について営業利益を20億円から14億5000万円(前期比14.5%減)へ増益から一転して減益を見込んだ。仕入れ価格や物流関連費用などが利益を圧迫している。

トーホー利益減額

チェンジはデジタル人材育成

3日、チェンジ(962)が続騰。デジタル人材育成サービス統合パッケージの展開を開始したと発表したことを受け、収益貢献を期待した買いを集めた。社内

正直いいさんの株で大判小判

6日の東京市場は4日続伸。米中貿易協議の再開合意や良好な経済指標を好感して前日の米国株が高く、107円台まで進んだ円安を追い風に、主力輸出株を中心に買い優勢の展開でした。ただ、6月下旬から7月下旬までの揉み合い水準から水準からの料が必要とメジャーSのイレギュレ、物色の押し目買い。ここは一旦ポに備えておきた(8103)は9権利取り方針で明確な切り返しです。イベント的には10日の新型iPhone発表イベント後のNTTドコモ(9437)など携帯各社の動きに注目しています。

6日の東京市場は4日続伸。米中貿易協議の再開合意や良好な経済指標を好感して前日の米国株が高く、107円台まで進んだ円安を追い風に、主力輸出株を中心に買い優勢の展開でした。ただ、6月下旬から7月下旬までの揉み合い水準から水準からの料が必要とメジャーSのイレギュレ、物色の押し目買い。ここは一旦ポに備えておきた(8103)は9権利取り方針で明確な切り返しです。イベント的には10日の新型iPhone発表イベント後のNTTドコモ(9437)など携帯各社の動きに注目しています。

次に備えポジション軽く



花咲翁

でデジタル人材を育てる基本スキル獲得から実践に至るトータルサービスを提供。

4日、ハブ(3030)が急動意。同社は「英国PUB文化を日本において広く普及させ

る」ことを理念に英国風PUBを関東・関西・名古屋・仙台で展開。今月下旬からのラグビーワールドカップ開催に向けて観戦イベントを予定していることから国内外からの来店客増が期待される。

ハブはラグビーWC杯

企業観察

イボキン(5699) ㊤

成長エンジンは解体事業



本社

イボキン(5699)は産業廃棄物処理・処分、リサイクル専門企業で、不要になったモノから社会に必要な資源を作り出している。委託を受けた解体から廃棄までワンストップで行うことが強味で、18年8月のジャスダック上場後、存在感を高めている。山崎喜博常務取締役に今後の展開を聞いた。

「上場から1年が経ったが、改めて上場した経緯を

MRIなど病院案件にも注力

「産廃業界の市場規模はビール業界と同じ2兆円だが、20万社存在するなかで、メジャープレイヤーは存在しなかった。上場で信用度を高めることで排出者(ユーザー)から安心して発注してもらえる環境や状況を作りたかった」

「解体事業の大型案件が収益を押し上げていくが、今後の受注見通しと戦略は」

「解体工事は50年以上前に建設されたものを対象にしており、これが今後30年間で大幅に増加してくる。その中でプラントの解体に特化し、MRIの撤去など病院向けにも力を入れていく」

カインスは一時S高

光通信5%取得で需給思惑

4日、カインス(4556)が急反発、一時ストップ高の874円に買われた。3日に提出された大量保有報告書で光通信(9435)が同社株を5.0%取得したことが判明。一段の買い増しなど需給への思惑から買いを集めた。保有目的は長期保有を前提とした純投資として



カインスの日足チャート

泉州電3Q進捗を嫌気

4日、泉州電業(9824)が急落。19年10月期の第3四半期累計決算を発表。連結営業利益29億7600万円(前年同期比8.4%増)となり、通期予想の42億4000万円(前期比9.6%増)に対する進捗状況や市場期待に届かなかったことが嫌気された。建設需要は堅調ながら銅価格の下落による販売価格の低下や、米中貿易摩擦などによる影響を受け、民間設備投資向け電線の一部が減少している。

上放れ

9月相場に入り相場の流れが変化して参りました。8月相場では2万200円~2万700円でBOX相場を形成してきました。その間、米中貿易戦争の激化により、空売りが積み上がってきました。しかし、香港や英国、そして米中貿易協議などで前向きなニュースが伝えられたことで、売り方がショートカバーに動かざるを得なくなり、BOXを上放れました。

先々週は5日移動平均線と20日移動平均線がゴールデンクロスを示現。先週は60日移動平均線を突破して、2万1230円近辺を走る200日移動平均線にタッチしてきました。2万1500円から上では過去半年間の累積出来高が重石となりますので、指数の伸びは限られまじょうが、個別銘柄では売られ過ぎの反動からテクニカルチャートが一気に好転してきており、来週の米FOMCまでまずは強気で臨むところでしょう。

日々勇太郎

転ばぬ先のテクニカル

海運バルチック急上昇

5日、商船三井(9104)、日本郵船(9101)、川崎汽船(9107)の大手海運株が連騰。バルチック海運指数が約9年ぶりの高値に上昇、船舶燃料のSOx規制も絡んで3カ月弱で約2.5倍に急上昇しており、市況好転による収益改善が期待された。ホルムズ海峡緊迫化や米国のスマホ対中関税引き上げ先送りなどにより、グローバル物流の駆け

ドーム日経平均除外

5日、東京ドーム(9681)は大幅安。日本経済新聞社が発表した日経平均株価構成銘柄の定期入れ替えで、除外されたことで売りを浴びた。一方、新たに採用されたエムスリー(2413)は続騰。入替えは10月1日の予定で、9月30日の引けにかけリバパックスに伴う売買イ

込み需要が発生している」と見られている。



ハリマ化成G
(4410)

巨大市場を本格開拓 中国製紙用薬品拡販体制整う

需要に加え、水質汚染対策のため環境規制が進み、大規模な排水処理施設の必要がない同社のPAM(ポリアクリルアミド)を原料にした製紙用薬品へ

ハリマ化成グループ(4410)は足もとの受注環境に厳しさが増すなか、中期視野に立って成長性の大きい中国製紙用薬品市場開拓に本格的に乗り出した。山東省の新工場が立ち上がったことで、主力の杭州と東莞の3工場による増産と流通・販売ネットワークを含めた拡販体制を確立。環境対応を全面に打ち出し、需要を掘り起こしていく。

前年の中国の製紙生産量はトータルで1億435万トン、うち華東地域で3156万トン、華南2971万トン、華北で2725万トンと新工場が立ち上がった華北地域だけで日本の2650万トンを上回る。同社はこれら需要3地域それぞれに生産拠点を持ち、3拠点の連携を強めることで、巨大マーケットに斬り込んでいく。

中国ではネット通販向け段ボール

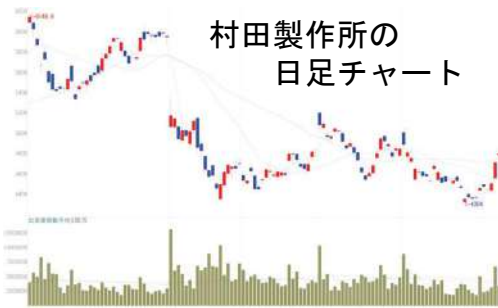
の引き合いが着実に増加。日本国内や米国、その他地域でも販売が伸び悩むなか、中国は堅調に推移しており、新工場もほぼ垂直立ち上げですでに7割程度まで稼働率が上昇している。

現地の製紙生産は今後も拡大が続くうえ、環境対応に加え品質向上へのニーズも強まっており、同社製品への潜在需要は膨大。現在、PAM原料の製紙用薬品で同社は現地シェア2割を占めるが「5割まで高める」(会社側)構え。杭州工場は年産7万4000トン体制でフル生産ながら、東莞は2万6000トン、山東は3万2000トンからいずれも8万トンまでの増設余地がある。

米中貿易問題に絡んだ製紙メーカーの東南アジア生産シフトの動きにも中国3拠点から対応する方針。

需要3地域の拠点連携

特選銘柄



村田製作所の
日足チャート

最新機種より画面を
有機ELよりも安価
な液晶パネルを使い
ることが伝わった。
20年春にも発売す
ることを抑えた新製
品を抑えた新製品の
格をiPhoneの価格
が抑えた新製品の
がiPhoneの価格を
抑えた新製品の格を

電子部品は大幅高

iPhone廉価版発売報道

5日、村田製作所(6981)、太陽誘電(6977)(627)など電子部品が大幅高。米アップル

今週の動意銘柄

週末6日、ソフトバンクグループ(984)が反落。出資先の米オフィスシェア大手ワイワイの運営会社、ワイワイカンパニーが予定しているIPOの想定時価総額が市場予想の半分の200億ドル(約2兆1000億円)程度にとどまると伝わったことが嫌気された。同社は累計で100億ドル以上出資、直近の資金調達を基にした推定企業価値は470億ドルにのぼるとみられていた。同社の追加出資を含めた企業価値向上施策が

小さくする。廉価版を投入し、韓国を投入し、韓国のサムスン電子や中国の華為技術(ファーウェイ)などの商品に對抗するとしており、サプライヤーの電子部品各社には受注増を期待した買いがあった。

ソフトバンクGは反落

ワイワイ時価総額予想の半分

6日、楽天(4755)が急落。10月に予定していた携帯電話事業への本格参入を来年春に事実上延期すると報じられた。基地局の設置が遅れていることが理由。10月時点で利用者を限定、無料金も一時的に無料にしてサービスを開始するとしているが、イメージ悪化は避けられず、本格参入後の苦戦を強いられるとの見方が広がった。

楽天携帯本格参入延期

潮流

財政支出が民間貯蓄生む！

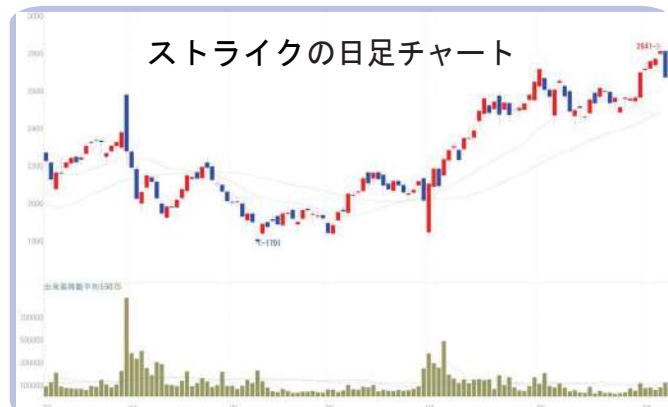
消費増税は国民を赤字にする政策



とか理解できないかもしれないが、本当のことなのだ。銀行員が借り手の口座に1000万円と記帳すれば、1000万円の預金生まれる。書くだけでお金生まれるので、「万年筆マネー」ともいう。

銀行は個人や企業から集めた預金を元手に、貸し出しを行っているのではないのだ。多くの人はこの重要な仕組みを知らない。貸し出すことで、預金生まれることを「信用創造」という。このことがお金のオペレーションを理解する上で最も大事なことである。「貸し出し⇒預金」という原理は政府に対する貸し出しも同じなのだ。つまり、「政府の赤字財政支出が民間貯蓄（預金）を生む」ことになる。政府の財政赤字が増加すればするだけ、国民の預金も増加するのである。政府はインフレ率が健全な範囲に収まる限り、自国通貨で国債を発行し、需要を拡大させることができる。政府の赤字は非政府部門にお金が注入されることであり、国民の所得や雇用を増やす。つまり、「財政赤字」は「国民黒字」なのだ。

具体的に例を挙げると、政府は景気対策のために国債を発行する。日銀が国債を購入し、政



府の日銀当座預金にお金を振り込む。政府は公共事業で道路を作るため民間の建設業者に工事を依頼する。政府は建設業者に政府小切手で支払いを行う。建設業者は取引銀行に政府小切手を持ち込み、代金の取立

てを依頼する。銀行は小切手相当額を建設業者の口座に記帳する。この時点で新たな「預金の創造」生まれる。同時に日銀に代金の取立てを依頼。この時点で「民間貯蓄が増加」する。政府保有の日銀当座預金が銀行の日銀当座預金勘定に振り替えられ、銀行の日銀当座預金が増える。建設業者が受け取ったお金はその会社で働く従業員の給料や下請け会社に支払われる。このように政府が新たな仕事を作り出し、お金を支払うことでお金が回り、経済が活性化して景気が良くなるのである。財政赤字を拡大しなければ、日本の成長はないということである。「財政赤字の拡大は国民黒字の拡大」である(MMT理論)。10月からの消費増税は国民を赤字にする政策であり、デフレが増長する。

潮流銘柄はストライク(6196)、野村総合研究所(4307)、TIS(3626)。

「銀行が貸し出しを行うことで、預金生まれる」と始めて聞いた方は何のことか理解できないかもしれないが、本当のことなのだ。銀行員が借り手の口座に1000万円と記帳すれば、1000万円の預金生まれる。書くだけでお金生まれるので、「万年筆マネー」ともいう。

から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは15.5%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp



岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第1回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から

政府国債発行し需要拡大

チャート から読む 騰落銘柄

アトム (7412)



8月6日に50日線割れとなる966円まで突っ込んだ後にジリ高基調継続。7月29日の1006円を抜けたことで3月4日の年初来高値1049円を目指す展開に期待。貸借倍率0.32倍で好需給も支援。

明和産業 (8103)



政策保有株式縮減に伴う第2四半期末配当44円の権利取り方針の買いに上値追い。信用倍率0.79倍で、5銭の逆日歩も。鋭角的に上昇してくる5日線と日足一目均衡表転換線を下値支持に一段高へ。

コーセー (4922)



8月28日に1万8480円まで戻すもその後は調整色が強くなる。25日線を下回ったことで8月6日に付けた年初来安値1万6430円が再度意識される。低価格帯のコスメタリー増で利益率悪化懸念も。

メドピア (6095)



7月に付けた高値1718円で天井感。急落のあと一旦下げ渋るも、再び下値模索へ。好業績は株価に織り込み済みで需給が重荷。下値抵抗帯の1100円を割り込めば、800円近辺までの下落も。

今週の

活躍期待銘柄



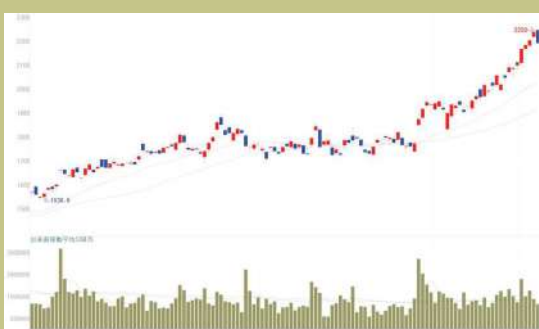
ドーン (2303)

「Live110」本格採用に期待

ドーン(2303)の株価は8月21日に1303円の年初来高値更新後に目先の利益確定売りに押されていたが、1100円台で落ち着く動きになってきた。

地理情報システム(GIS)構築ソフト「ジオベース」をリリースとしたソフト受託開発を主力に事業を展開。GISのほか、地図を活用したメール配信や危機管理システム、NET119緊急通報システムの提供などを行っている。兵庫県警察本部と連携し、110番通報の際にスマートフォンによるビデオ通話を行うシステム「Live110(仮称)」の実証実験を9月10日まで実施。今後、本格採用となり、全国で採用の動きとなれば、大きな問題となっている「あおり運転」対策として威力を発揮しそう。好調な業績からも株価再浮上を期待したい。(と)

あおり運転対策で威力発揮



NRI (4307)

DXで海外市場を本格開拓

野村総合研究所(4307)は1Q好決算を発表を機に過熱感なく下値を切り上げ、一段高を志向してきた。

20年3月期第1四半期は連結売上高1294億9500万円(前年同期比10.0%増)、営業利益203億5300万円(同32.7%増)と2ケタ増収で利益が急拡大。2Q、通期計画に対する進捗状況から上振れが濃厚だが、さらに、株価は中期成長性の大きさを織り込む動きとなってきた。ITでビジネスを変革するDX(デジタルトランスフォーメーション)へのニーズが強まるなか、コンサルからシステム開発・運用まで一貫して提供する総合力を生かし、海外市場を本格的に開拓。中期計画最終年度の23年3月期に売上高6700億円以上、営業利益1000億円を目標に掲げており、年率2ケタ超の成長が続く。(さ)

年率2ケタ超の成長つづく

※チャートは日足

サプライズ・ハロウィーン

ホテル・アルバート2とゾンビ・デ・ダンス公開

USJ

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)は、シリーズナル・イベント「ユニバーサル・サプライズ・ハロウィーン」の9月6日ブランドオープンに先駆け、5日にプレスプレビューを開催した。今年、「絶叫ハロウィーン」「大人ハロウィーン」「ごこわかわ」ハロ



ゾンビ・デ・ダンス

ホテル・アルバート2

を初公開、ドレスアップしたゲスト約100名が、恐怖だけでなく感情をも揺さぶる「美しきホラー」の世界に酔いしれた。その後、午後6時30分ごろには、7日からの「ハロウィーン・ホラー・ナイト」に先駆け、「絶叫ハロウィーン」のゲスト参加型ホラー・エンターテイメント「ゾンビ・デ・ダンス」を開催、過去最大スケールのゾンビ&モンスターとゲスト約1000人が、三代目J-SOUL BROTHERSの「Rattatattat(ラタタ)ダンス」をキレイキレイに踊り、圧倒的なハロウィーン空間に「DIVE!」して大熱狂した。

ウィーンの3つの

ハロウィーンがパーク全域で大幅スケールアップ、過去最大のアトラクション数となり「ここにしかない超・非日常」が体験できる。

「大人ハロウィーン」のメインアトラクションであり、美しさとホラーが融合した今までにないハロウィーン・ホラーに完全没入できる「新・劇場型ホラー・アトラクション」「ホテル・アルバート2」レクイエム

購読会員募集中!

証券市場新聞では、購読会員を募集しています。

値幅取り候補銘柄!!!

【正直じいさんの株で大判小判】でお馴染みの花咲 翁氏が独自の分析で値幅取り候補銘柄を紹介します。

<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

証券市場新聞 公式メールマガジン

優良銘柄に加えて新興銘柄のタイムリーな限定情報が満載!

<https://www.mag2.com/m/0001678061.html>

星野三太郎の 株街往来

～住民連携の重要度～

筆者は4月から数年ぶりに20世帯ほどある自治会の会長を務めている。平穩無事な状況なら、年に一度の町会費を集めて、5月のゴールデンウィークに行く地域の一斉清掃で1年行う業務の大半を終えるが、実際には七夕祭りの応援とか、故障した街灯の補修依頼とか、日々の仕事と兼務するには激務と思うほど業務は多い。

そのなかで困難を極めるのが街灯のように市が管理しているモノに対しての申請。8月はゴミ置き場になっている公園角にスズメバチの巣ができたが、巣の原因となっていた公園の植え込みの伐採申請でも担当窓口の対応が遅く難儀した。結局、担当窓口より上の部署に事情を説明して対応してもらったが、水害や地震などの大災害が発生したときに自治体が本来行うべき業務を行えるのか不安になってくる。

自治体加入世帯の名簿にしても転出や転入の変更が手書きで乱雑に修正してあったので、エクセルで作成し直したのを提出したこともあった。今の時代にPCを利用しないのも不思議。民間企業では当たり前になっていることができないのも悲しくなってくるが、それを事実として認識して住民が連携して行動していくしかない。



企業レター

揖保川事業所新棟が竣工 国内随一のポリカ供給拠点

タキロンCI

タキロンシー

アイ(4215)

の揖保川事業所に新棟が完成し、8月29日に竣工式が行われた。同社では、採光建材の生産最適化を目的として、これまでグループに3つ



竣工式の様子

棟に集約する作業を進めてきた。これにより揖保川事業所は国内随一のポリカーボネート生産量を誇り、



揖保川事業所新棟

自動化、機械化により、検査を含め極めて効率的な供給体制を整備している。これに加えて今回の新棟建設により、これまで分散していた後加工拠点を製造拠点に隣接させることで、最終製品までの一貫生産を実現し、物流費をはじめとする経費の削減やリードタイムの短縮、開発や技術革新のスピードアップを図り、更なるサービスの向上と付加価値の高い製品の提供が可能となる。

竣工式では、南谷陽介代表取締役会長CEO、齋藤一也代表取締役社長COOほか役員に加えて、たつの市役所やたつの警察署長、たつの消防署長、設計者、施工者が一同が集まり開催、63001.24㎡と東京ドーム1.4個分を誇る敷地面積やGoogleアースでも存在が示せる工場屋根のロゴマークなどの工場の概要説明が行われ「揖保川事業所新棟建設を建設を新たなスタートラインとして全社一丸となって益々の社業発展に邁進する」(南谷会長CEO)とあいさつしている。

敬院先物ディーラー

ハチロクの裏話

買戻し一服か？

上昇には日銀追加政策必要

先週の日経平均は4日続伸。米中貿易問題について「10月に閣僚級で話し合う」との報道から売り方の買戻しが進み、3日間約700円程度上昇した。相場自体が悪材料に打たれ強くなっていたところ、好感出来る材料が出たため、買戻し中心の「円安株高」となった。しかし、手口を見ても売りを仕掛けた某欧州外資証券が買戻したに過ぎず、更なる上昇には材料不足である。

「協議を再開する」といってもトランプ氏のことだからまたいつ梯子を外すかもしれないので、積極的に買いは上がりづらい。ここからの買いは慎重に見たいところである。チャートのところでは7日高値(2万1241円29銭)は今回の下げ幅の約66%戻りとなる。この位置には下降する20日移動平均線(2万1202円7円処)があり、今年は

この線を300円〜500円超えてくると売られる傾向にある。また、拡大するボリンジャーバンドの△3σは2万1253円処であり止まりやすい位置にある。さらには下降する週足の26週線は2万1295円処、52週は2万1482円処と21500円近辺には抵抗ラインも多くここからの上昇には日銀の更なる追加政策などが必要となる。先週までの上昇で3空を形成しており、さらに金曜日の日足は「十字」に近い状況である。チャートの教科書通りならここからは一旦「売り」であるが、RSIが約70%、ストキャスティクス約68%と若干の上昇の可能性がある。今週は

この線を超えてくると売られる傾向にある。また、拡大するボリンジャーバンドの△3σは2万1253円処であり止まりやすい位置にある。さらには下降する週足の26週線は2万1295円処、52週は2万1482円処と21500円近辺には抵抗ラインも多くここからの上昇には日銀の更なる追加政策などが必要となる。先週までの上昇で3空を形成しており、さらに金曜日の日足は「十字」に近い状況である。チャートの教科書通りならここからは一旦「売り」であるが、RSIが約70%、ストキャスティクス約68%と若干の上昇の可能性がある。今週は

今週のスケジュール

- 6日 米8月雇用統計(21:30)
- 8日 中国8月貿易収支
- 9日 7月国際収支、4-6月期GDP改定値(8:50)
8月景気ウォッチャー調査
- 10日 8月マネーストック(8:50)
8月工作機械受注(15:00)
中国8月消費者物価、中国8月生産者物価(10:30)
米アップルはイベントで新型「iPhone」発表の可能性
- 11日 7-9月期法人企業景気予測調査(8:50)
一帯一路サミット(香港~12日)
米8月生産者物価(21:30)
- 12日 8月国内企業物価指数、7月機械受注(8:50)
8月都心オフィス空室率(11:00)
7月第三次産業活動指数(13:30)
ECB定例理事会(ドラギ総裁会見)
米8月消費者物価(21:30)
- 13日 米8月小売売上高(21:30)



編集後記

寝酒に焼酎で一杯やっていると、悲鳴に近い猫の音がする。気になって外に様子を見に行くと、小猫が横たわっていて近くには我が家の飼い猫がいた。恐らく縄張りに入ってきた外敵とみなして襲いかかったのだろう、拾い上げると口から血を流し瀕死の状態になっている。ただ、その飼い猫も小さい時に迷い込んできた同じ境遇の捨て猫。

本能とは言え、そこまで敵対心を持つのだろうか、手の中で死んでいった子猫の体の温かみがしばらく感覚に残り、何ともやりきれない気持ちだった。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らばたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。